

2022年度 法科大学院

第2期入学試験問題

2時限

民法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

V（事件当時17歳）は、琵琶湖のヨットハーバーの突堤（以下「本件現場」という。突堤とは、陸から海や川に長く突き出した、細長い堤防のことである。）で遊び仲間のA1およびB1（いずれも事件当時17歳。以下、A1およびB1を合わせて「A1ら」という。）と遊んでいた。本件現場では、琵琶湖への飛び込みをして遊ぶしかない場所であることのほか、友人を琵琶湖に突き落としたり突き落とされたりすることがあることを、Vも、A1らも認識していた。

A1は、B1に対し、Vを琵琶湖に落とそうと提案したのに対して、B1は、それに反対することなく了解した。そこで、A1は、突堤上でVの肩付近を手で押し、Vを琵琶湖内に転落させた。A1らは、突然突き落とされて溺れている様子であったVを、しばらくの間、笑いながら見ていた。その後、A1らは、Vが冗談で溺れている振りをしているのではなく、本当に溺れているものと認識し、突堤から琵琶湖に飛び込み、溺れているVの救助を試みたが奏功しなかった。その後、消防が本件現場に到着し、Vは琵琶湖から引き上げられ、そのまま病院に搬送されたものの、溺水による窒息死により死亡した（以下「本件事件」という。）。

本件事件について、共同正犯による傷害致死の疑いでA1らは逮捕拘留の上、所要の捜査を受け、A1は少年院送致、B1は不起訴処分となった。

以上の事実を前提に、以下の小問（1）および（2）に答えなさい。不明な事実は、適宜補いながら答えなさい。

（1）Vの母であるXは、Vが死亡したことについて、A1らに対し、どのような責任を追及することができるか。

（2）Vの母であるXは、Vが死亡したことについて、A1の母A2、ならびに、B1の母B2および父B3（以下、A2、B2およびB3を合わせて「A2ら」という。）に対し、どのような責任を追及することができるか。